

公衆衛生

第13巻・第14巻 総目次

— 論 説 —

	巻・号
日本医師会 (匿名)	13・2
SOS! SOS! 石垣純二	13・3
学校衛生と保健所活動 奥野徹	13・4
第23回日本衛生学会総会に際して (匿名)	13・5
癌と公衆衛生 斎藤潔	13・6
世界衛生への歩み 曾田長宗	14・1
公衆衛生と高血圧 K K K	14・2
日本の精神衛生当面の問題 斎藤鏖一	14・3
食生活改善運動に望む 船田文子	14・4
第8回日本公衆衛生学会印象記 橋本正巳	14・5
結核医病学者へ望む 豊川行平	14・6

— 総 説 —

デンマークに於ける結核死亡率と結核対策	室橋豊穂	13・1
クロロマイセチンの耐性	小酒井望	13・1
気象医学の研究(Ⅱ)	鳥居敏雄	13・2
新聞に表われた衛生関係記事の分析	山本二郎	13・2
結核療養所入所患者の実態	岸田壮一	13・2
牛結核の問題	室橋豊穂	13・3
アメリカの保健婦	三浦貞	13・3
百日咳をめぐる最近の進歩	山本郁夫	13・4
百日咳の疫学的研究	金子義徳	13・4
医師にかかつていない鉤虫寄生者の病状およびその作業能に及ぼす影響に就いて	小宮義孝	13・4
日本に於ける有機燐殺虫剤パラチオン, テップ中毒の問題	上田喜一	13・5
赤痢の疫学調査方法に就いて	国立公衆衛生院疫学部	13・5
癌の発生	杉靖三郎	13・6
癌の早期発見	緒方準一	13・6
癌治療の現況	田崎勇三	13・6
職業性癌腫	久保田重孝	13・6
米国における癌の問題	平山雄	13・6
癌の統計	瀬木三雄	13・6

巻・号

器官, 別府県別, 癌訂正死亡率とその相関について	藤崎暹	13・6
寄生虫予防と糞尿処理	児玉威	14・1
公衆衛生からみた合衆国に於ける循環器病の諸問題	田多井吉之助	14・2
精神神経病の最近の治療	白木博次	14・3
双生児研究からみた人格問題	井上英二	14・3
児童の精神衛生	高木四郎	14・3
食品防腐剤の研究	八田貞義	14・3
食品分析表の再検討	有本邦太郎	14・4
医科大学における栄養教育内容について	岩田昌一	14・4
岩田昌一氏の論文を読んで(1)	吉川春寿	14・4
(2)	島田敏夫	14・4
軟性下疳菌類似菌(青木等)についての説明	青木義勇	14・6
梅毒の治療をめぐるつて	樋口謙太郎	14・5
梅毒血清反応の比較実験に就いて	石坂公成	14・5
結核X線診断の急所	重松逸造	14・6
結核予防政策の方向	聖城稔	14・6
精神衛生の領域	齊藤千都	14・6

— 研究報告 —

齧蝕とその予防に関する実験的研究(第2回報告)	帆足望	3・1
東京都内公衆浴場の汚染状況並に		
クロラミン消毒試験成績	斎藤功	13・1
労働時の温熱環境と皮膚温	倉田正一	13・1
位相差顕微鏡による2, 3原虫類の観察について	橋本雅一	13・2
蛔虫感染経路に関する研究(Ⅱ)	松崎義周	13・2
蛔虫寄生虫のこんなにすくない小学校がある	村江通之	13・2
尿尿処理による蛔虫感染予防の可能性	松村龍雄	13・2
立川市内に頻発せるガソリン臭井戸水の		
系統的調査研究(第3報)	佐藤乙一	13・2

	巻・号		巻・号
三重大農学部集団赤痢概況	杉村 巧平 3・2	斉島住民の眼瞼形状並に色神調査	中村 照彦 13・6
齧蝕とその予防に関する実験的研究(3)	帆 足 望 13・2	2537A° 紫外線殺菌燈の室内消毒効果について	田中 恒男 13・6
原子爆弾による広島中央電話局の被害調査	佐藤 徳一郎 13・3	昭和26, 27年度名古屋市牛乳の汚染度調査報告	土平 一義 13・6
松阪地方の受胎調節実施状況	掃部 俊造 13・3	ビタミンA及びD過剰投与の蛔虫感染に及ぼす影響	森下 薫 3・6
金沢市兼六中学に於ける熱性疫患の集団発生に就いて	河村 光平 13・3	環境衛生よりみた電子オゾン殺菌燈の効果	山口 勇郎 13・6
ツベルクリン反応に伴う異常局所反応の 集団発生例について(第1報)	藤森 岳夫 13・3	群馬県下某村に於けるレプトスピラ症について	北岡 正見 14・1
井戸の合理的消毒について	村田 典行 13・3	日本住血吸虫に関する研究	横川 宗雄 14・1
Bis cetone guanylhg bra Zone の防腐剤としての 基礎的及び応用実験	柳沢 文徳 13・3	寄生虫卵殺滅剤に関する基礎的研究	林 滋生 14・1
大阪市内某下水抽水所より発散する悪臭ガスの被害調査	相沢 龍 13・4	山口県一鉢山に於ける鉤虫症に関する一観察	川本 脩二 14・1
新型サルモネラ <i>Salmonella nagoya</i>	中島 浩二 13・4	富山県八尾町に於ける鉤虫の分布種類及び 寄生者の症状について	今園 義盛 14・1
Dyscratic index による衛生状態の判定	大山 保 13・4	米子市に於ける屋内鼠とその寄生虫	森下 卓郎 14・1
ジフテリアの小集団発生からみた 予防接種の効果に就いて	山下 章 13・4	標本調査による某農村住民の蛔虫卵保有率調査	田中正 四 14・1
夜間高校生を対照とせる血清梅毒反応について	杉浦 静枝 13・4	某工場製品検査レ線室のレ線散乱状態の 調査とその対策の一例	佐々木雄次郎 14・2
京都地方に於ける蠅の研究	渡辺 清 13・5	空気中有毒物制限濃度の簡易測定法	福山 富太郎 14・2
採便法の相違による赤痢菌検出成績の差異	藤沢 秀雄 3・5	齧蝕とその予防に関する実験的研究	帆 足 望 14・2
生活保護世帯の一地区に於ける受胎調節に対する態度	寺村 倫子 13・5	学童の食事調査	東 義夫 14・3
アイスクリームの食品衛生学的調査報告	土平 一義 13・5	都内一集娼地区就業婦の梅毒罹患に関する調査	田中 英 14・5
井水検査成績と赤痢患者の発生に対する考察	辻村 啓 13・6	性病患者の実態調査(第1報)	小原 菊夫 14・5
昭和27年6月鐘紡大垣工場に発生した 集団赤痢に就いて	臼井 治郎 13・5	淋疾に関する公衆衛生学的研究	藤原 喜久夫 14・5
食糧倉庫に於けるコナダニ類の大発生例について	飯田 鈴吉 13・5	大阪市内某工場地帯に於ける 結核自宅療養患者の実態	相沢 龍 14・6
一農村に於ける百日咳の疫学的観察	辻 達彦 13・6	人工気胸に就いてのアンケート	田中正 好 14・6
日常食品の食品衛生学的研究	山崎 義人 13・6	農村に於ける開放性結核患者の 疫学的意義に関する研究	中山 茂 14・6
大阪市立田辺中学校プールに於ける 水質の実験的考察	四元 正治 13・6	ツ反応の注射部位による強度差について	重松 逸造 14・6
最近3年間の妊婦血清梅毒反応陽性率	佐々木 忠正 13・6	社会医学的にみた人間の寿命	大山 保 14・6

撒布隣接地に於けるホリドール中毒症について	田 波 潤 一	14・6
-----------------------	---------	------

肺吸虫症患者の喀痰及び糞便からの 虫卵検定頻度について	小 宮 義 孝	14・6
横浜港湾地域で捕獲された 鼠の衛生学的検査成績	上 田 修 平	14・9
京橋地区に於ける乳幼児結核の最近の推移	宇留野 勝正	14・6

保健所の外来よりみた農村結核	大 角 喜 教	14・6
結核の家族内感染調査について	篠 崎 吉 次	14・6
野菜漬物類の熱湯処理を大衆化した場合の 蛔虫予防効果	沢田 藤一郎	14・6
螢光燈による眼障害	大 塚 任	14・6
化学繊維衣料に関する衛生学的考察	都 築 弘	14・6
X線検診による先天性股関節脱臼 の早期発見について	館 野 真	14・6

— 時 評 —

シンポジウム形式の検討	佐 藤 恒 信	13・1
抗酒薬の取扱	三 堀 三 郎	13・3
主任衛生管理者制度の可否	山 本 幹 夫	13・4
最近の集団食中毒について	石 丸 隆 治	13・5
日本の公衆衛生と瘡	館 林 宣 夫	13・6
医師実地修練と保健所	斎 藤 潔	14・1
医師の診断技術と施設	K K K	14・2
反社会性と精神病質	新 井 尙 賢	14・3
ビタミンとミネラルの乱用問題	柳 金 太 郎	14・4
性病	X 生	14・5
WHO西太平洋地域委員会 第4回会議を終って	曾 田 長 宗	14・6

— 統計資料 —

結核の統計	石 田 保 広	13・1
昭和26年度における急性灰白髄炎について	曾 田 長 宗	13・2
昭和26年度における保健所事業成績について	石 田 保 広	13・3
労働疾病統計	及 川 富 士 雄	13・4

昭和27年における伝染病届出数及び 昭和28年の赤痢届出数の予測について	石 田 保 広	13・5
---	---------	------

寄生虫統計	石 田 保 広	14・1
-------	---------	------

卷・号

昭和27年簡易生命表について	石 田 保 広	14・2
国民栄養の変遷	大 磯 敏 雄	14・4
統計面に現れた結核の現況	聖 城 稔	14・6

— 随筆・随想 —

随 想	斎 藤 潔	13・1
30年前のスキーの思出	大 野 精 七	13・2
オバケの話	長 尾 貞 一	14・1
文明生活と精神衛生	竹 山 恒 寿	14・2
新中国の医学教育見たまま	二 戸 源 治	14・4
保健文化賞受賞の感想	酒 井 谷 平	14・5
思ったままのこと	桑 原 麟 児	14・6

— 座 談 会 —

アメリカ公衆衛生に何を学ぶか	13・1
検査技術に関する問題	13・4
赤痢をどうするか	13・5
寄生虫に関する問題	14・1
高血圧の諸問題	14・2
学校給食の現状と将来	14・4
ツベルクリン反応の再検討	14・6

— そ の 他 —

私が厚生大臣になつたら (アンケート)		13・1
ノーベル賞を勝ちえた		
黄熱ワクチンの研究		13・2
中毒学会談話会	野村茂	13・3
「生活と水」について (映画)	内藤幸徳	13・4
汎太平洋結核会議に出席して	高部益男	14・1
水害と防疫	毛利広	14・2
国立遺伝学研究所を訪う (ルポルタージュ)		14・3
台湾に於ける衛生事情	王洛	14・4
最近台湾で発生した狂犬病の統計的観察		
曾沢永		14・4
街娼・飲食店・旅館・温泉		
を中心としてみた性病予防 (シンポジウム)		14・5